

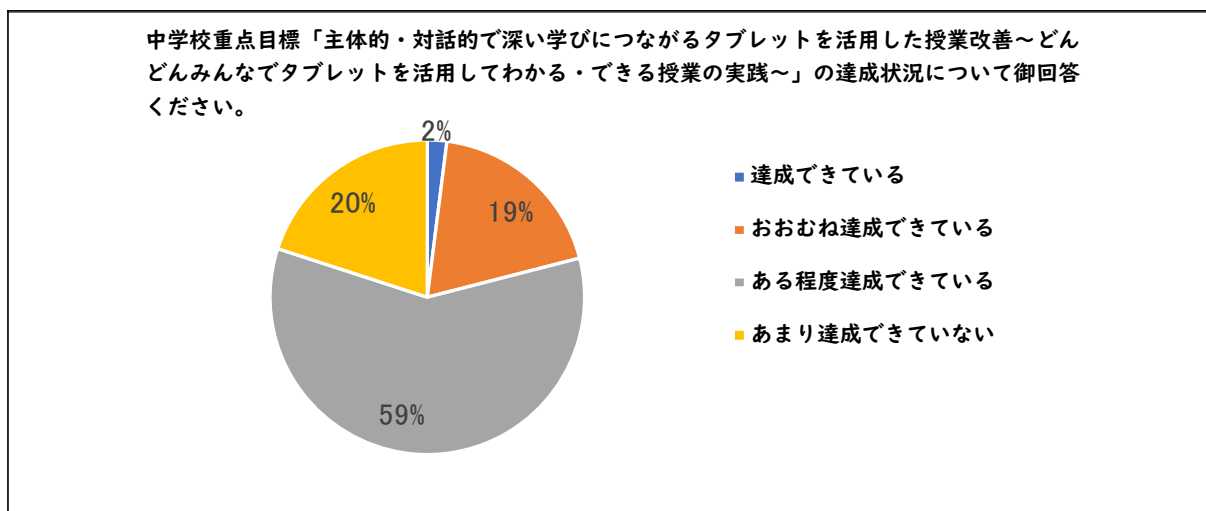
中学校部会

1 開催状況の概要

- (1) 日 時 令和4年2月16日(水) 午前10時から午前11時30分まで
- (2) 方 法 Web会議システムによるリモート開催
- (3) 出席者 中学校部会員11名(全員出席)

2 令和3年度中学校重点目標の達成状況

- (1) ICTスキル習得に向けた取組状況の調査結果(中学校)より
(3/1時点 有効回答数83/83)



- 「達成できている」(2%)
 - 「おおむね達成できている」(19%)
 - 「ある程度達成できている」(58%)
 - 「あまり達成できていない」(20%)
- } 21%が目標を達成

大部分の学校において意識づけはできているものの、今後は継続した取組につ
なげていく必要がある。

(2) 日常的な活用の実現に効果的だった取組

ア 校内研修の充実

- ・ G I G A スクールサポート事業
- ・ 各教育委員会主催の研修
- ・ 外部講師を招いた研修
(大学関係者, ICTに関わる会社, 地域の専門的な知識を有する方)
- ・ 職員会や自由参加のミニ研修など日常的に情報共有
(職員会後の30分の研修, メンター制, 小グループ制, ワークショップ
形式, 希望研修制など校内の実情に合わせた研修等)
- ・ 「徳島GIGAスクールサポートサイト」の実践事例を活用

イ 積極的活用の推進

- ・ 定期的に校内研究授業の実施(全ての教員が参加できるような取組)

- ・ Teamsなどの活用が増加（リモート会議・授業での活用・健康観察等・持ち帰り）
- ・ 特定の教科における活用方法を全職員で理解する研修
- ・ 家庭学習に生かせる「学びポケット」・「Forms」・「スマイルネクスト」等の学習ソフトの研修機会

(3) 日常的な活用の実現に苦労したことや改善点

ア 教員の課題

- ・ 教科間・教師間でのICT活用の意識の差(教員の意識改革)
- ・ 教職員のスキル不足

イ 生徒の課題

- ・ 家庭学習の在り方
- ・ 情報モラル・セキュリティの知識の未熟さ

ウ 環境整備での課題

- ・ Wi-Fi環境に課題
- ・ 端末不具合時のトラブル対応

3 令和3年度端末活用状況について（各教科における活用頻度調査結果）

分類	第1回調査結果 (~11月)	第2回調査結果2月 (~2月)	前回との比較
国語	47%	57%	+10%
社会	51%	66%	+15%
数学	39%	51%	+12%
理科	48%	60%	+12%
音楽	39%	49%	+10%
美術	29%	53%	+24%
保健体育	21%	37%	+16%
技術	54%	76%	+22%
家庭	36%	54%	+18%
外国語	51%	72%	+21%
道徳	27%	41%	+14%
総合的な学習の時間	77%	87%	+10%
特別活動	50%	67%	+17%

※表の数値 各授業で3割以上の活用を合計したもの

- ・ 全ての授業において、1回目の調査より活用状況の増加が見られた。
- ・ 社会、理科、技術、外国語、総合学習の時間、特別活動などでの活用が多い。
- ・ 中間調査と比較すると30%未満の活用に留まっている教員の割合が減ってはいるが、現在でも約4割程度存在している。

全教科での活用は広がりつつあるが、一方で教科間の格差もあり、今後は教科の枠を超えて情報共有することや、各教科で研修をもつ機会が必要である。

4 生徒のICTスキルの習得状況について

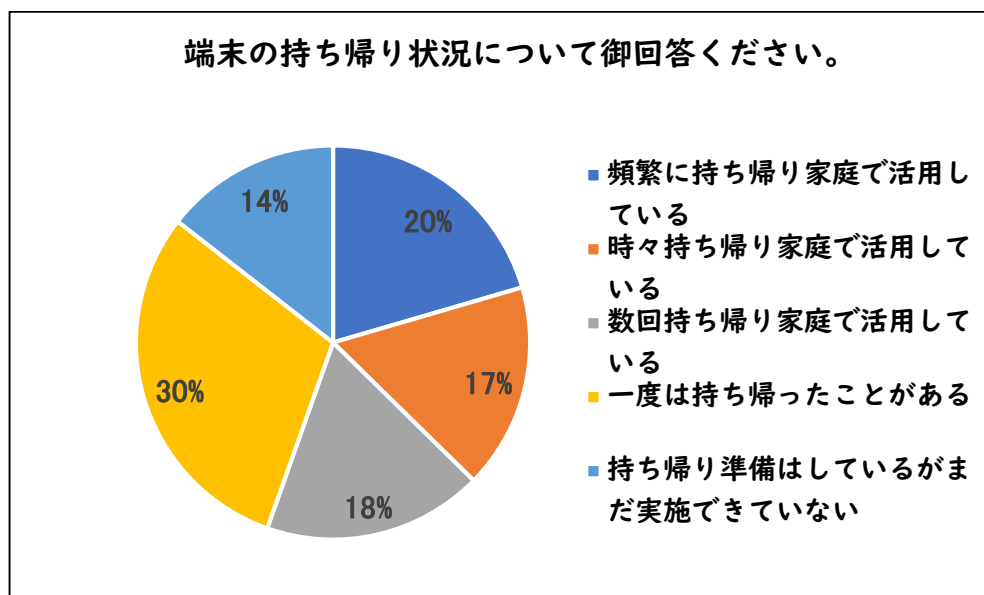
	分類	第1回調査結果 (～11月)	第2回調査結果 (～2月)	前回との比較
基本 操作	アプリケーション操作	25%	40%	+15%
	カメラ機能活用	16%	19%	+3%
	文字入力	29%	37%	+8%
情報 活用 力	分類整理・まとめる力	6%	11%	+5%
	プレゼンテーション力	18%	21%	+3%
	情報収集力	23%	33%	+10%
	コミュニケーション力	14%	25%	+11%
情報 モラ ル・ セキ ュリ ティ	情報社会の倫理	37%	49%	+12%
	情報に関する権利	32%	43%	+11%
	危険回避	39%	54%	+15%
	情報の取り扱い	31%	43%	+12%
	健康面への配慮	26%	42%	+16%
	情報セキュリティ	27%	29%	+2%

※表の数値 ステップ4までの達成状況を合計したもの

- ・中間調査と比較すると、全項目の達成割合が向上している。
- ・基本操作では、カメラ機能活用の習得状況が低いが、各教科での活用方法を工夫し、機会を増やすことでステップ4の習得活用が増えていくと考えられる。
- ・情報活用能力では、分類整理・まとめる力やプレゼンテーション力が低い。
- ・情報モラル・セキュリティも全ての項目において一定の理解はされているものの、健康被害やセキュリティへの関心が低い。

全体としては上がっているものの、達成率は低い。また、中学校における情報モラル・セキュリティなどは大きな課題である。

5 端末の持ち帰り状況について



「頻繁に持ち帰り家庭で活用している」(20%) } 家庭でどのように活用
「時々持ち帰り家庭で活用している」(17%) } するのかを意識

「数回持ち帰り家庭で活用している」(18%) } 有事の際の活用
「一度は持ち帰ったことがある」(30%) } を意識
「持ち帰り準備はしているがまだ実施できていない」(14%) }

持ち帰りの学校は増えているが、日常的な持ち帰りを推進していくためには、
学校の実情に合わせた情報モラル・セキュリティ面の強化や家庭での効果的な活
用等を増やしていく必要がある。

6 令和4年度中学校部会の推進目標

1人1台タブレットの効果を生み出す授業改善